



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL <http://www.mammymart.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績（2018年10月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	28,348	4.3	581	△39.9	683	△36.6	431	△37.4
2018年9月期第1四半期	27,170	1.0	968	△14.0	1,077	△11.3	689	△14.5

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 366百万円 (△49.9%) 2018年9月期第1四半期 732百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	39.96	—
2018年9月期第1四半期	63.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	61,207	23,848	38.9	2,207.59
2018年9月期	57,740	23,590	40.8	2,183.72

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 23,830百万円 2018年9月期 23,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	56,000	6.8	1,690	△8.2	1,890	△7.9	1,200	△10.2	111.16
通期	110,000	4.4	2,320	△16.2	2,720	△15.6	1,730	—	160.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1 Q	10,796,793株	2018年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	2019年9月期1 Q	1,955株	2018年9月期	1,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1 Q	10,794,846株	2018年9月期1 Q	10,794,928株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における小売業界を取り巻く経営環境は、緩やかな景気回復基調で推移した一方で、人手不足による人件費の増加、物流コストの上昇、ライフスタイルの多様化による業態を超えた競争など、ますます厳しくなっております。

このような環境の中、当社グループは、「Enjoy Life!」をコンセプトとして、「ベーシック・ラインの強化」「付加価値の向上」「M3活動の推進」の3つを重点項目に施策を進めてまいりました。

[ベーシック・ラインの強化]

お客様の満足度を上げるため、店舗状況を精査し、商品事業部・販売事業部が一丸となって、販売施策の統一、売れ筋商品の販売力強化を進めてまいりました。

ハード面では、既存店舗を環境変化や経年劣化を考慮し、活性化計画を策定しました。

[付加価値の向上]

「おいしい健康を咲かせよう」を合言葉に、素材から製法、機能性などにこだわった商品を手頃な価格で提供できるよう、当社オリジナル商品の開発に取り組んでまいりました。プライベートブランドの売上高の構成比は約3割まで拡大しました。

「お客様の健康をサポートする店」を目指し、お客様へ積極的にアドバイスできる人材を増やすため、社内資格、「たべもの学」を通して、従業員の食と健康に関する知識を深めてまいりました。

「親子料理教室」「お菓子工場見学&食育セミナー」といったイベントを取引先と共同企画し、食育活動と食を通じたお客様とのコミュニケーションを図ってまいりました。

また、惣菜部門において、全国の医療機関・大学病院が日々提供していたり研究・考案した献立にもとづき作られた、栄養バランスが取れているうえに低カロリーな「からだデリ」の展開を始めました。

[M3活動の推進]

「M3プロジェクト」活動を中心として、従業員が日々の課題や問題点を自ら考え、解決・改善へと繋げていくことに楽しみや、やりがいを感じてもらえる社内制度、環境づくりに継続して取り組んでまいりました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおきまして、2018年11月に柏旭町店（千葉県柏市）、12月に下戸田店（埼玉県戸田市）を開店し、当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め79店舗であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高28,348百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益581百万円（同39.9%減）、経常利益683百万円（同36.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は431百万円（同37.4%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第1四半期連結累計期間は、売上高28,214百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益570百万円（同40.7%減）となりました。

[その他の事業]

売上高134百万円（前年同期比13.1%増）、セグメント利益10百万円（同73.5%増）となりました。

(注) 「Enjoy Life!」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。

「M3」とは、My Mami Martの略で、自分たちの会社をより良い会社にしようとする、全従業員参加型のプロジェクトです。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より3,467百万円増加し61,207万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることに伴う現金及び預金の留保、新規出店に伴う固定資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より3,208百万円増加し37,358百万円となりました。これは主に、買掛金と短期借入金増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ258百万円増加し23,848百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月14日に公表いたしました「平成30年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,001	6,698
売掛金	1,108	1,560
有価証券	2,100	—
商品	2,723	3,188
貯蔵品	23	16
その他	1,719	1,791
流動資産合計	10,676	13,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,343	12,623
機械装置及び運搬具(純額)	187	192
土地	20,868	20,868
リース資産(純額)	654	636
建設仮勘定	963	633
その他(純額)	1,254	1,390
有形固定資産合計	35,271	36,344
無形固定資産		
	148	137
投資その他の資産		
投資有価証券	331	265
長期貸付金	272	265
差入保証金	7,665	7,575
賃貸不動産(純額)	368	367
繰延税金資産	2,177	2,163
その他	830	833
投資その他の資産合計	11,644	11,469
固定資産合計	47,063	47,951
資産合計	57,740	61,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,353	12,374
短期借入金	50	1,750
1年内返済予定の長期借入金	4,928	4,553
リース債務	157	157
未払費用	2,514	3,185
未払法人税等	717	283
賞与引当金	416	168
資産除去債務	—	57
その他	710	1,226
流動負債合計	19,847	23,755
固定負債		
長期借入金	8,950	8,339
リース債務	1,340	1,301
長期預り保証金	1,635	1,622
転貸損失引当金	54	44
役員退職慰労引当金	299	309
退職給付に係る負債	1,140	1,162
資産除去債務	835	779
その他	44	43
固定負債合計	14,302	13,603
負債合計	34,149	37,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	18,012	18,335
自己株式	△2	△2
株主資本合計	23,531	23,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	19
退職給付に係る調整累計額	△39	△43
その他の包括利益累計額合計	41	△24
非支配株主持分	17	18
純資産合計	23,590	23,848
負債純資産合計	57,740	61,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	27,170	28,348
売上原価	19,921	21,041
売上総利益	7,249	7,307
営業収入	344	341
営業総利益	7,593	7,648
販売費及び一般管理費	6,624	7,066
営業利益	968	581
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	3	4
不動産賃貸料	65	65
受取手数料	47	48
その他	51	40
営業外収益合計	183	172
営業外費用		
支払利息	11	11
不動産賃貸費用	58	58
その他	3	0
営業外費用合計	74	70
経常利益	1,077	683
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,075	683
法人税等	385	250
四半期純利益	689	432
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	689	431

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	689	432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△61
退職給付に係る調整額	5	△3
その他の包括利益合計	42	△65
四半期包括利益	732	366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	731	365
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	27,052	118	27,170	—	27,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	27,052	118	27,170	△0	27,170
セグメント利益	962	6	968	—	968

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	28,214	134	28,348	—	28,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	28,214	134	28,349	△0	28,348
セグメント利益	570	10	581	—	581

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。